

平成 29 年 9 月 13 日
東京厚生信用組合

第 6 回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者で構成される「経営諮問会議」を設置しております。

本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第 6 回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第 7 回会議は、平成 30 年 1 月頃に開催する予定です。

— 記 —

1. 日 時 平成 29 年 8 月 1 日 (火) 10 : 00 ~ 12 : 00

2. 場 所 東京厚生信用組合 本店

3. 出席者

(経営諮問委員) (五十音順、敬称略)

鈴木 豊 (公認会計士・税理士)

傳田 純 (東京都商工会連合会 専務理事)

西岡 修 (社会福祉法人 白十字会 白十字ホーム ホーム長)

(東京厚生信用組合)

稲村 久仁雄 (理事長)

中山 功 (常務理事)

高原 伸二 (常勤理事)

平山 圭樹 (常勤監事)

杉本 康幸 (企画部長)

4. 稲村理事長挨拶骨子

平成 28 年度は第二次経営強化計画の初年度でしたが、役職員一丸となって諸施策に取り組んだ結果、4 指標の計数計画については、始期比及び計画比ともに上回る事が出来ました。収益面では、貸出金利息が 7 期ぶりに増収になったことや、経費削減努力等により、高水準の収益を確保することが出来ました。これを踏まえ、出資配当率を昨年度から引き上げ、1.0%といたしました。

本日は、前回会議以降の経営強化計画履行状況等について、ご報告申し上げますので、委員の皆様には当組合の今後の運営について忌憚のないご意見・ご助言を頂戴できますようお願い申し上げます。

5. 当組合からの説明内容

中山常務理事より以下の内容について説明いたしました。

- ・最近時の業況（平成 29 年 3 月期決算、29 年度事業計画（計数）、29 年 6 月末実績）
- ・第二次経営強化計画施策の進捗状況
- ・関東財務局検査結果に係る 24 条報告

6. 会議における主な意見

出席委員の皆様から以下のご意見・ご提言をいただきました。

- 業域先で特に歯科医師会会員向けメンバーズローンが伸びているとのことだが、業況が厳しい先もあるので、業況も見ながらリスク管理を適切に行う必要がある。
- 不動産業向け貸出の増加とともに、未保全額も増加しており、信用リスク管理に懸念を有している。貸出を伸ばすことは重要であるが、リスク管理はしっかりと行うことが必要である。
- 不動産業向け貸出の中で、収益物件向けについては、入居率や場所等について懸念がある場合もあるので、慎重に対応していく必要がある。サブリースについても注意が必要である。
- 大口預金の取引解消があるようだが、顧客の動きは常にしっかりと見ていく必要がある。
- 認知症グループホームマッチング事業への取組みに当たっては、他との競合の中から、当組合としてもメリットが得られるようにしなければならない。

7. 稲村理事長からの回答

大変貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。

引き続き、第二次経営強化計画の達成に向けて頑張っていきたいと思っております。

以上